

3/11反原発福島行動へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2018年1月15日
No.501

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

東北大学当局による サークル活動破壊許さない!

東北大学学生自治会／文化部サークル協議会

東北大学当局は12月27日、サークル員を集めて「説明会」を開き、サークル新棟(部室)の耐震・改修工事を行うことを一方的に通達した。工事を口実にして、3月末にもサークル員を部室から叩きだし、サークル活動の権利を破壊することを狙っている。絶対に許せない!

東北大学や京都大学、広島大学で一斉に拠点つぶし攻撃が始まったのは偶然ではない。「軍事研究の解禁」に端を発する大学の戦争動員に道を開くためだ。

1月4日、安倍首相は「今年こそ憲法のあるべき姿を国民に提示」と9条改憲に踏み込むことを宣言した。それは、学生や労働者のあらゆる団結形態を破壊する階級戦争をしかけるということだ。

改憲阻止決戦の火ぶたが切って落とされた。サークル活動破壊のための耐震・改修工事に対して、東北大から闘いを爆

発させ、キャンパスから闘う団結を甦らせよう。

◇自由なサークル活動は東北大生が 歴史的に闘ってかちとってきた

耐震・改修工事が狙われているサークル新棟(下写真)には、サークル部室が約100室あり、これらの部室を1サークル団体が1つずつ、時間制限なく使用している。また、1階に

設置されている会議室(2部屋)も、学生自身による管理のもとでいつでも使用できるようになっている。

このサークル新棟は、東北大学当局に「与えられた」ものではない。かつて東北大学のサークル団体は、1965年のキャンパス移転攻撃によって多くの部室を奪われている。「恒久サークル棟建設」を目標に、30年にわたる闘いによっ



福島から改憲・戦争を止めよう 原発・オリンピックを打ち砕こう

3.11反原発福島行動'18

〈日時〉 3月11日(日)13時～ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市民文化センター・大ホール

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com



て1997年にようやくかちとったものだ。

決定的だったのは、大学当局の分断攻撃に対して、全サークル員が一步も譲らなかったことだ。サークル新棟建設にあたり、東北大学当局は文部省(当時)と“サークル新棟の建設と引き換えに今あるすべての部室を取り壊す”“大部屋共用方式”という“密約”を交わしていた。しかし、全サークル団体が個別の利害を超えて固く団結し、全体の利害を貫き、8度の団体交渉(下写真2枚参照)にのべ数千人の学生が決起して、学生自身の力で部室をかちとったのだ。

それ以降、東北大学当局はサークル員の団結を破壊するために、様々な攻撃をかけてきた。2004年の国立大学法人化の際には、ビラまき・立て看板の「許可制」や、部室の使用時間を制限する内容が盛り込まれた『内規』適用を迫ってきた。しかし、この『内規』適用攻撃にも、クラスやサークルから「内規撤廃決議」が100を超えて上がり、実質的に粉碎してサークル活動の自由を守りぬいてきた。

◇明善寮つぶしの次はサークルつぶしに 走る小田中「総長」特別補佐

大学当局の狙いは、耐震・改修工事によって、これまで闘ってかちとってきた権利をすべて剥奪することにある。全サークル団体をいったん全員叩きだし、『内規』に“宣誓”した団体にだけ今年秋以降に部室の使用を認める。まさに“全員解雇・選別再雇用”の国鉄方式と全く同質の攻撃だ。

前記説明会に登場した小田中直樹「総長」特別補佐は、サークル部室の使用時間を「今は8時30分～21時」と口を滑らせ、耐震・改修工事の狙いをあらわにした。小田中「総長」特別補佐とは、14年7月に「飲酒問題」を口実に東北大学明善寮を

暴力的につぶした張本人だ。改修され再び運営されている明善寮は、入寮する条件に「禁酒」が盛り込まれ、違反した学生は「退寮処分」とされる。同じ名前でも別物につくり変えられているのだ。耐震・改修工事の狙いを暴き、絶対反対で闘う団結をつくろう。

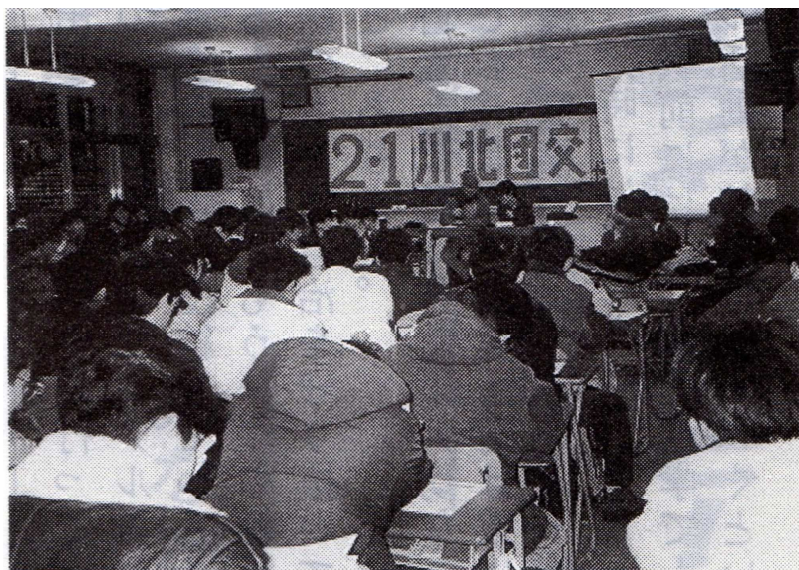
◇労働者のクビを切る 大学当局に信用などない!

安倍政権の先兵になる以外に「新自由主義大学」を維持することはできないが、それはますますトップダウンによる暴力支配に頼らざるを得ず、学生自治・大学自治破壊に対する学生・教職員の怒りに転化していく。暴力的に写る当局の攻撃の背景には、学生運動の爆発に対する恐怖が見え隠れしている。学生・労働者と話し合うことを放棄した大学当局に対する絶望は、必ず根底的な怒りに転化する。

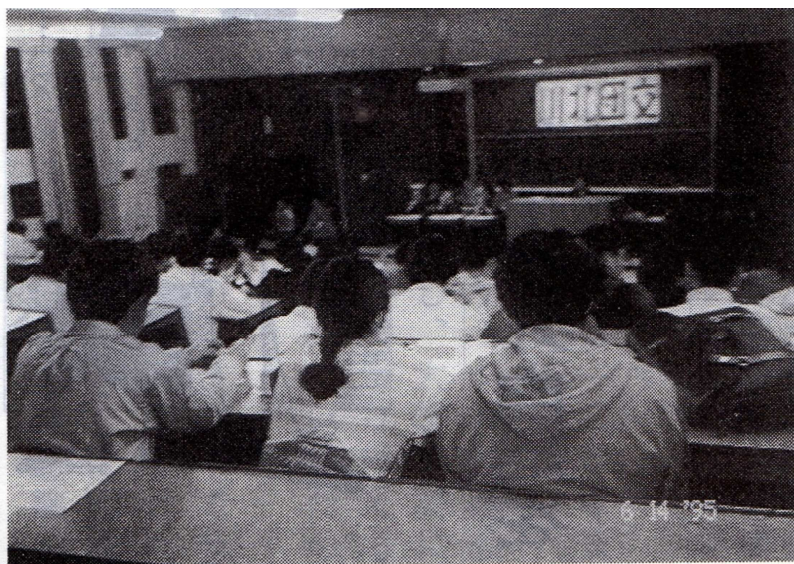
すでに東北大学当局は、労働者の怒りで包囲されている。里見進「総長」と理事7人は1月11日、労働基準法違反の容疑で告発された。非正規雇用労働者の無期転換を回避するために、就業規則を労働者に無断で変更していたのだ。

「予算がない」「違法ではない」と言い張って非正規雇用の労働者を大量に雇い止め解雇しておきながら、自治破壊のためのサークル新棟の耐震・改修工事には「数千万の予算をつけました」などと平然と言っていること自体が、破廉恥極まりない。労働者のクビを平気で切るような大学が、学生だけ「優遇」するなど絶対にありえない!

改憲阻止決戦と「働き方改革」攻撃との闘い、サークル決戦が完全に一体化した。学生と労働者の怒りを東北大学当局に叩きつけよう! 大学を学生と労働者の手に奪い返そう!



1995年2月1日川北団交



1995年6月14日川北団交

1・22通常国会開会日弾劾行動

1月22日(月)12～13時 / 永田町・参議院議員会館前

呼びかけ：全学連

※「全学連」の青い旗が目印です。